

第105回全国高校野球選手権青森大会



大会第5日

第105回全国高校野球選手権青森大会第5日（18日）六戸スライフル球場で2回戦7試合が行われた。八学野西は青森とのロースコアの勝負を制した。大会は小刻みに得点を重ね、五回を先し

た。八学野西はついに1回コールド勝ち。田名部は弘前実で延長11回タイブレークの末に取れた。7回途中（七、六学所）野辺地、巨、八学、盛岡、盛岡勢は弘前に3-1と取れた。このほか、青森が3回に先制した。また、六戸スライフルの第2試合、青森北ワイルドは陸奥によるスコアレスドローのため、19日に繰返すとし、決勝することが決まった。同球場の第3試合、八戸北十和田は、同球場の第3試合、19日に繰返すと決まった。

2回戦

青森 000001000 1
 八学野西 1002000X 3
 (青) 樋口、石田一坂本
 (八) 樋口一平田
 >二塁打 川村2、村上、東海(青) >暴投 樋口(八) >捕逸 坂本(青)
 >試合時間 1時間55分
 (球審=後藤、塁審=種市、小西、菊池)
 【注】八学野西は、先発樋口から安打1失点と要所を極めて完投。息詰まる投手戦を制した。打線は1点リードで迎えた四回、四球と犠打、敬失に加え、平田の三塁内野安打で2点を追加した。青森は初回中に救援し、1安打と粘投した石田を援護できなかった。

野西・樋口 緩急自在

好守に支えられ完投

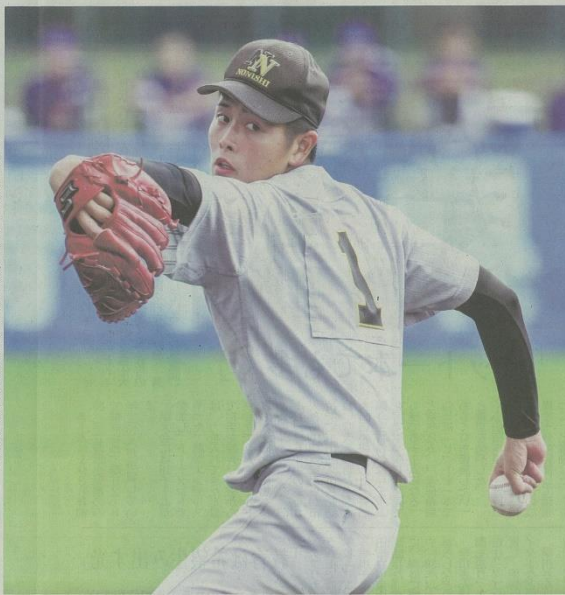
ヒーロー

エースナンバーを背負い、経年選手と共に配球を調整。中盤からはカーブでカウントを膨らませる（上）。バッターは相手を盗塁を制し、内野手も際どい当たりをスライディングキャッチする姿、力投する土野を無失策の守りでものたかっ。樋口は「敵よりも、チーム総力で勝ちたい」と、梅しざの誓いを果たすつもりだ。(林森雄)

「一切緊張感にならないように。あとは後ろを信じて腕を振る。たとえ打者を許しても、八学野西の先発樋口陣は冷静だった。1球の投球手達から公認に出し、2年連続からは、眺みながら、女房役の梅。笑った。

昨日は3回戦で敗退した梅しざを機に、食事を増やすなど、近づく。球速は1年で10%近く増した。次戦の相手は今の青森県大会で対戦し、8失点。岳林をなめた土田。樋口は「敵よりも、チーム総力で勝ちたい」と、梅しざの誓いを果たすつもりだ。(林森雄)

冷静「マウンドさばきには自信」



【2回戦・八学野西(青森)】1失点で完投した八学野西先発の樋口陣一平田